

2022年1月吉日

大津市障害者自立支援協議会

関係各位

大津市障害者自立支援協議会虐待防止研修会

「SOSを見つけ出すために、支援者ができることは何か」

開催趣旨

大津市においても重度障害者の方の地域生活における資源不足が課題となっており、家族の介護負担も高く、子供と親の将来への不安も高い状況となっています。協議会においても家族から資源整備の声が強くなっており、アンケート調査を実施し、声を拾い上げることに取り組んでいます。

そのような情勢の中、お隣の京都市では2020年に重い知的障害のある17歳の長男を殺害して罪に問われた母親に対する裁判にて執行猶予のついた有罪判決が言い渡されました。京都地方裁判所は「長男の受け入れ施設が見つからず、将来に絶望を抱きかねない状況だった」と述べています。事件が起こったのは、高等部卒業後の進路先を探したもののなかなか見つからないまま、2か所目の通所事業所を見学した日の深夜だったそうです。

この事件の背景には、資源整備や家族を支える支援の体制の課題等があります。それは京都市だけでなく全国的な問題であり、大津においても考えないといけない課題が数多く示されている事案です。

そこで大津市障害者自立支援協議会では、京都で起こったこの事件の裁判を傍聴した佛教大学の田中智子先生の講演を聞き、事件の背景から見えてきた課題に対して、支援者ができることを学ぶ機会を設けたいと考えました。

講師：佛教大学 田中智子先生

内容：

<講演>

障害児者を支える資源の量的不足と

埋め込まれた家族のケア役割の課題と求められる支援

<指定発言>

大津市内の障害福祉関係者等



申し込みフォーム

対象者：大津市内の障害者支援に関わる支援者・学校関係者

(大津市外で参加希望の方はお問い合わせください)

日時：2月28日(月) 10時～12時

開催方法：会場&オンラインの併用(感染状況によりオンラインのみ)

開催後1か月は動画配信。

会場は、やまびこ総合支援センターを予定。

参加申し込みは、上記のQRコードか、裏面の申し込みフォームよりお願いします。

動画視聴のみの方も申し込みください。

参加申し込みフォーム→ <https://forms.gle/BnBYUPzWKceLbRS68>

(申し込みフォームでの申し込みが難しい方は以下の FAX 番号に、名前・所属・電話番号・メールアドレス・参加方法(会場かオンラインか)をご記入の上お送りください。)

問い合わせ先

大津市障害者自立支援協議会 大津市立やまびこ総合支援センター内 相談課(松岡、野村、坂本)
〒520-0802 大津市馬場2-13-50 TEL077-527-0486 Fax077-527-0334

メール: otsuziritu@gmail.com

ホームページ <https://www.otsuziritu.org/>

田中智子先生プロフィール (佛教大学 HP より)

(専門分野) ・障害者福祉論 ・社会福祉援助方法論

(研究課題) ・障害者のいる家族に生じる生活問題 ・障害者福祉援助の専門性

(書籍等出版物)

知的障害者家族の貧困 家族に依存するケア 2020/03

いっしょにね!! 2019/11

新・現代障害者福祉論 2019/09

新版・キーワードブック特別支援教育 インクルーシブ教育時代の基礎知識 2019/04

隠れ保育料を考える 子育ての社会化と保育の無償化のために 2018/08

障害者ケアから照射するケアラー女性の貧困 2017/10

社会福祉方法基礎1・2 2012/06

新版 現代障害者福祉論 2011/05

社会福祉実習 現場とともに歩む社会福祉士を目指して 2011/05

『障害者の「暮らしの場」をどうするか?』『障害者の豊かな地域生活とは』『ゆたかな暮らしをどうつくるか』 2009/05

『社会福祉方法原論の展開』『社会福祉の資格制度と養成教育の課題』 2007/06

『障害者自立支援法と人間らしく生きる権利～障害者福祉改革への提言2』 障害者家族のリアリティと家族支援 2007/04

『シリーズ障害者の自立と地域生活支援 10 障害者のくらしはまもれるのか 検証・障害者自立支援法』 障害者福祉は変わるのか—業務調査から考える